

SNC-EP550/EP580
SNC-ER550/ER580/ER585/ER585H
SNC-ZP550/ZR550

リリースノート

Ver. 1.87

2017/4/25

Sony Corporation

Release Note

変更履歴

#	リリース日	バージョン	主な変更内容及び、コメント
1	2011/06/30	1.40	初回リリース
2	2011/07/26	1.41	オーディオ出力レベルの問題のみ修正
3	2011/08/09	1.42	特定操作後の通信接続問題のみ修正
4	2011/08/24	1.51	<ul style="list-style-type: none"> ・SNC-EP550/ER550 初回リリース ・新機能追加 ・機能制限条件を変更 ・既知の問題点を更新
5	2011/11/29	1.53	<ul style="list-style-type: none"> ・SNC-EP580/ER580 のハードウェア変更に伴う対応 ・問題点の修正
6	2012/03/23	1.70	<ul style="list-style-type: none"> ・新機能追加 ・改善した問題点追加
7	2012/05/28	同上	リリースノート記載内容のみの変更 <ul style="list-style-type: none"> ・「2. ファームウェアアップグレード」で SNC toolbox のバージョン明記 ・既知の問題点追加 (14.8、14.9)
8	2012/07/09	1.72.01	SNC-ZP550/ZR550 専用ファームウェアとして初回リリース
9	2012/07/11	1.74.01	<ul style="list-style-type: none"> ・Ver.1.74.01 の新機能および改善した問題点を追加 ・8.11、13.14、14.10.を追加
10	2012/08/02	1.74.02	<ul style="list-style-type: none"> ・Ver.1.74.02 の改善した問題点を追加 ・同問題点の記載を削除
11	2012/11/05	1.76	Ver.1.76 の新機能および改善した問題点を追加
12	2012/12/28	1.77.02	<ul style="list-style-type: none"> ・SNC-ER585/ER585H 初回リリース ・Ver.1.77.02 の新機能および改善した問題点を追加
13	2013/01/31	1.78	Ver1.78 の新機能および改善した問題点を追加
14	2013/09/27	1.80	Ver1.80 の新機能および改善した問題点を追加
15	2013/11/01	1.81	Ver1.81 の新機能を追加
16	2014/02/27	1.82.01	Ver1.82.01 の改善した問題点を追加
17	2014/11/10	1.85	Ver1.85 の新機能を追加
18	2016/11/25	1.86	Ver1.86 の新機能を追加 Ver1.86 で改善した問題点を追加
19	2017/04/25	1.87	Ver1.87 の新機能を追加

目 次

1. 本リリースバージョンについて	6
1.1. 全般について	6
1.2. 動作環境について	6
1.3. 互換性について	6
1.4. ONVIF 適合検証	7
2. ファームウェアアップグレード	7
3. Ver. 1.87 の新規追加機能について	7
3.1. セキュリティの強化対応	7
4. Ver. 1.87 で改善した問題点	7
5. Ver. 1.86 の新規追加機能について	7
5.1. セキュリティの強化対応	7
5.2. ONVIF Ver. 16.07 対応	7
6. Ver. 1.86 で改善した問題点	7
7. Ver. 1.85 の新規追加機能について	7
7.1. Windows 8.1 IE11 対応	7
7.2. ONVIF Ver. 14.06 対応	7
8. Ver.1.82.01 の新規追加機能について	7
9. Ver.1.81 の新規追加機能について	8
9.1. CGI コマンドによる Focus Near Limit 設定 (SNC-EP580/ER580/ER585/ER585H)	8
9.2. CGI コマンドによる Max Zoom Speed 設定 (SNC-EP580/ER580/ER585/ER585H)	8
9.3. ONVIF Ver. 13.06 対応	8
10. Ver.1.80 の新規追加機能について	8
10.1. Windows 8 IE10 対応	8
10.2. ONVIF Ver. 12.12 対応	8
10.3. RTP ストリームへの User Data 付加機能	8
11. Ver.1.78 の新規追加機能について	8
11.1. 映像2使用設定時の動体検知	8
11.2. G.726 の RFC3551 フォーマット対応	8
12. Ver.1.77.02 の新規追加機能について	9
12.1. 新機種追加対応	9
12.2. ONVIF Profile S 対応	9
13. Ver.1.76 の新規追加機能について	9
13.1. CGI コマンドによる WS-Discovery 設定	9
14. Ver. 1.74.02 の新規追加機能について	9
15. Ver. 1.74.01 の新規追加機能について	9
15.1. 新機種追加対応	9
15.2. サポートするブラウザ	9
15.3. ハイブリッドカメラレシーバーからの操作によるズーム動作速度設定 (SNC-ZP550/ZR550)	9
15.4. CGI コマンドによる Focus Near Limit 設定 (SNC-EP550/ER550/ZP550/ZR550)	10
15.5. CGI コマンドによる Max Zoom Speed 設定 (SNC-EP550/ER550/ZP550/ZR550)	10
16. Ver. 1.70 の新規追加機能について	10
16.1. プライバシーマスキングエリアの数	10

16.2. 映像/音声別のマルチキャストアドレス設定	10
17. Ver. 1.53 の新規追加機能について	10
18. Ver. 1.51 の新規追加機能について	10
18.1. 新機種追加対応	10
18.2. NTCIP 対応	11
18.3. Connection List	11
18.4. ホワイトバランス設定の「自動(最適)」モード対応	11
18.5. メール機能(「異常送信」)の SD メモリーカード対応	11
18.6. 高感度モード対応	11
19. Ver. 1.86 で改善した問題点	11
20. Ver.1.82.01 で改善した問題点	11
20.1. ファームウェア格納メモリーにおけるデータエラー訂正の能力強化	11
21. Ver. 1.81 で改善した問題点	11
22. Ver.1.80 で改善した問題点	12
22.1. ONVIF における音声のみの Profile 対応	12
22.2. ONVIF で 1280x720 から 1920x1080 までのフレームレートが正しく設定できない不具合修正 (SNC-EP580/ER580/ER585/ER585H)	12
22.3. 起動直後の 802.1x 認証が失敗する不具合の修正	12
22.4. ONVIF においてタイムゾーン設定ができない不具合の修正	12
22.5. ONVIF において HTTP の Port 設定変更後の通知ができない不具合の修正	12
22.6. ONVIF における Video Encoder Configuration 対応	12
22.7. Edge Storage の記録性能の改善	12
22.8. RTSP における PLAY の応答に RTP-Info ヘッダ付加	13
23. Ver.1.78 で改善した問題点	13
23.1. 時刻変更時の Edge Storage	13
23.2. ONVIF コマンド SetImagingSettings のパラメータ設定	13
24. Ver.1.77.02 で改善した問題点	14
24.1. SSL 有効時のストリーミング画像パフォーマンス改善	14
24.2. MPEG-4 の SDP 修正	14
25. Ver.1.76 で改善した問題点	14
25.1. 他社クライアントソフトとの接続性改善	14
25.2. 他社クライアントソフトからのプリセット登録問題	14
25.3. SSL 有効時に alarmdata.cgi が送信されない問題	14
25.4. 動体検知中に alarmdata.cgi が 1/0 を繰り返す問題	14
25.5. アイリス F 値が正しく設定されない問題 (SNC-EP550/ER550/ZP550/ZR550)	14
25.6. IPv6 使用時シリアル制御 PTZ コマンドが受信できない問題 (SNC-ZP550/ZR550)	14
26. Ver. 1.74.02 で改善した問題点	15
26.1. Full Duplex 通信でのスループット低下	15
27. Ver. 1.74.01 で改善した問題点	15
27.1. ビデオコーデックの初期値ビットレート変更 (SNC-EP580/ER580)	15
27.2. No.9 以上のプライバシーマスク設定 (SNC-ER550)	15
27.3. マルチキャスト配信時の応答性改善	15
27.4. RtpExpire 設定値の反映	15
27.5. ONVIF コマンド GetVideoSourceConfigurationOptionsRequest に対する応答不具合	15
27.6. ONVIF コマンド SetVideoEncoderConfiguration に対するエラー応答	15

28. Ver. 1.70 で改善した問題点	15
28.1. ビデオコーデックモード設定改善	15
28.2. Smartphone viewer の Landscape mode 表示不具合	16
28.3. Smartphone viewer のストリーム受信不具合	16
28.4. JPEG RTP パケットの Fragment Offset 値不正	16
28.5. Audio upload 認証エラー時の再接続不具合	16
28.6. Edge Storage 再生不具合	16
28.7. メール機能の「異常送信」の継続送信設定	16
28.8. マルチキャストアドレスのデフォルト値	16
28.9. プライバシーマスクの表示位置	17
28.10. プリセットツアー停止直後のプリセット呼び出し	17
28.11. ONVIF プロトコル接続時のズーム動作不具合	17
29. Ver. 1.53 で改善した問題点	17
30. Ver. 1.51 で改善した問題点	17
31. Ver. 1.42 で改善した問題点	17
31.1. 特定の操作を行うと通信出来なくなることがある問題の修正	17
32. Ver. 1.41 で改善した問題点	17
32.1. オーディオ出力レベル	17
33. 機能の制限等について	18
33.1. SNC video player	18
33.2. モニター出力（ビデオ出力）	18
33.3. プリセット位置のサムネイル表示	18
33.4. RTSP ストリーミング	18
33.5. Edge Storage	18
33.6. カメラ妨害検知	19
33.7. 動体検知	20
33.8. イメージメモリー	20
33.9. DynaView (WDR)	20
33.10. DynaView オン時の画面更新速度	21
33.11. フレームレート制限	21
33.12. JPEG の帯域制限	21
33.13. 映像コーデックの使用制限	21
33.14. 動体検知領域の設定	21
34. 既知の問題点について	22
34.1. Safari について	22
34.2. Edge Storage	22
34.3. RTSP	22
34.4. カメラ妨害検知	22
34.5. 動体検知	22
34.6. Smartphone viewer での長時間再生	22
34.7. Smartphone viewer での複数ボタンの同時押下	22
34.8. ビデオ出力でのスーパーインポーズ表示について	22
34.9. バージョン 1.2.5.0 以前の SNC toolbox によるファームウェアアップグレード	23

1. 本リリースバージョンについて

1.1. 全般について

本バージョンは、Ver. 1.87 になります。

以下の機種が対象となります。

- SNC-EP550/EP580 (SYM, CN)
- SNC-ER550/ER580 (SYM, CN)
- SNC-ER550C (AR)
- SNC-ER585/ER585H (SYM, CN)
- SNC-ZP550 (SYM, CN)
- SNC-ZR550 (SYM, CN)

詳細内容については、本リリースノートで説明しています。

1.2. 動作環境について

カメラの映像を見たり、制御したりするコンピューターには、次の動作環境が必要です。

- OS
 - Windows 7 (32bit 版、64 bit 版)
 - Windows 8.1 Pro (32bit 版、64 bit 版)
 - 動作検証済みエディション:
 - Windows 7 : Ultimate、Professional
 - Windows 8.1 : Pro
 - Microsoft DirectX 9.0c 以上
- Web ブラウザ
 - Microsoft Internet Explorer Ver. 11.0 (Windows 8.1 デスクトップモードのみ対応)
 - Firefox Ver.50.1 (Plug-in free viewer のみ対応)
 - Google Chrome Ver.55.0 (Plug-in free viewer のみ対応)
- CPU
 - Intel Core 2 Duo、2 GHz 以上 (SNC-EP550/ER550/ZP550/ZR550)
 - Intel Core 2 Duo、2.33 GHz 以上 (SNC-EP580/ER580/ER585/ER585H)
- メモリー
 - 1 GB 以上 (SNC-EP550/ER550/ZP550/ZR550)
 - 2 GB 以上 (SNC-EP580/ER580/ER585/ER585H)
- ディスプレイ
 - 1600 × 1200 画素以上 (SNC-EP550/ER550/ZP550/ZR550)
 - 1600 × 1200 画素以上 (2560 × 1600 画素以上を推奨)
 - (SNC-EP580/ER580/ER585/ER585H)

1.3. 互換性について

本バージョンでは、CGIコマンド、RTSPその他のネットワークプロトコル、ストリーミングに関するデータフォーマットにおける変更はありません。外部接続機器との相互接続性に対してVer1.86との互換性があります。

1.4. ONVIF 適合検証

本ファームウェアはONVIF Device Test Tool version 17.01でONVIF適合検証を行っています。

2. ファームウェアアップグレード

ファームウェアのアップグレードを行う場合は、SNC toolbox(Ver. 1.3.8.0 以降)を使用してください。SNC toolbox が対応するカメラの詳細については、SNC toolbox のリリースノートを参照してください。使用方法に関してはユーザーガイドの“SNC toolbox を使う”を参照してください。

3. Ver. 1.87 の新規追加機能について

3.1. セキュリティの強化対応

【ご注意】ActiveX のインストールに失敗する場合は、最新の Windows セキュリティパッチを当ててください

4. Ver. 1.87 で改善した問題点

本バージョンで改善した問題点はありません。

5. Ver. 1.86 の新規追加機能について

5.1. セキュリティの強化対応

5.2. ONVIF Ver. 16.07 対応

ONVIF Device Test Tool Version 16.07で適合検証を行っています。

6. Ver. 1.86 で改善した問題点

カメラ電源投入時に、ごくまれに起動に失敗することがある問題がありましたので、修正しました。
(Ver 1.40 からの問題)

7. Ver. 1.85 の新規追加機能について

7.1. Windows 8.1 IE11 対応

Windows 8.1 で動作するデスクトップユーザーインターフェース版の Internet Explorer11 (IE11) に対応しました。また、Windows 8.1 のスタート画面から起動されたIE11、および Windows 7 版の IE11 での動作確認は行っておりません。

7.2. ONVIF Ver. 14.06 対応

ONVIF Device Test Tool Version 14.06で適合検証を行っています。

8. Ver.1.82.01 の新規追加機能について

ありません。

9. Ver.1.81 の新規追加機能について

9.1. CGI コマンドによる Focus Near Limit 設定 (SNC-EP580/ER580/ER585/ER585H)
Focus Near Limitを以下のCGIコマンドで設定できるようにしました。

http://ip_adr/command/ptzf.cgi?FocusNearLimit=<limit position>

詳細はCGIコマンド説明書を参照してください。

9.2. CGI コマンドによる Max Zoom Speed 設定 (SNC-EP580/ER580/ER585/ER585H)
Max Zoom Speedを以下のCGIコマンドで設定できるようにしました。

http://ip_adr/command/ptzf.cgi?MaxZoomSpeed=<speed>

詳細は CGI コマンド説明書を参照してください。

9.3. ONVIF Ver. 13.06 対応

ONVIF Device Test Tool Version 13.06で適合検証を行っています。

10. Ver.1.80 の新規追加機能について

10.1. Windows 8 IE10 対応

Windows 8で動作するデスクトップユーザーインターフェース版のInternet Explorer10 (IE10) に対応しました。また、Windows 8のスタート画面から起動されたIE10、およびWindows 7版のIE10での動作確認は行っておりません。

10.2. ONVIF Ver. 12.12 対応

ONVIF Device Test Tool Version 12.12で適合検証を行っています。

10.3. RTP ストリームへの User Data 付加機能

RTPストリームへ UserData を付加できる機能を追加しました。

CGIのカテゴリに userdata.cgi を追加し、パラメータ RTPUserData の値を on へ変更することで有効にできます。

http://ip_adr/command/userdata.cgi?RTPUserData=on

本機能に関する詳細はCGIコマンド説明書を参照してください。

11. Ver.1.78 の新規追加機能について

11.1. 映像2使用設定時の動体検知

映像2のコーデック使用設定時にも動体検知機能を使用できるようにしました。

また、SNC-ZP550/ZR550では、ビデオ出力オン(映像2コーデック設定はオフ)時にも動体検知機能を使用できるようにしました。

この時、映像2またはビデオ出力にスーパーインポーズは表示できません。

11.2. G.726 の RFC3551 フォーマット対応

G.726音声コーデックフォーマットを従来のITU-Tフォーマットに加え、RFC3551フォーマットにも対応しました。通常ONVIF接続時にはRFC3551フォーマットが選択されます。

次のように2つのフォーマットはストリーミング取得時のURIにより指定できます。

- ITU-Tフォーマット

rtsp://ip_adr/media/video1

または

rtsp://ip_adr/media/video1?g726=itu-t

- RFC3551フォーマット

rtsp://ip_adr/media/video1?g726=rfc3551

RFC3551フォーマット使用時のオーディオストリーミングポート番号は次の CGI パラメータで指定できます。

- ユニキャスト: RTSPUcAudioG726RfcPort (デフォルト 51004)
- マルチキャスト: RTSPMcAudioG726RfcPort (デフォルト 61004)

12. Ver.1.77.02 の新規追加機能について

12.1. 新機種追加対応

本バージョンでは SNC-ER585/ER585H の対応を行っています。

共通ファームウェアとして1.1節記載の8対象機種すべてに対応します。

12.2. ONVIF Profile S 対応

ONVIF Profile Sに対応しました。ONVIF Device Test Tool version 12.06で適合検証を行っています。

13. Ver.1.76 の新規追加機能について

13.1. CGI コマンドによる WS-Discovery 設定

CGIコマンドの設定によりONVIFで使用するWS-Discoveryプロトコルを作動させないように出来ます。この時、239.255.255.250宛のマルチキャストJoinメッセージは起動時に発行されません。

http://ip_adr/command/system.cgi?WsDiscovery=off

詳細は CGI コマンド説明書を参照してください。

14. Ver. 1.74.02 の新規追加機能について

本バージョンで追加した機能はありません。

15. Ver. 1.74.01 の新規追加機能について

15.1. 新機種追加対応

本バージョンでは SNC-ZP550/ZR550 の対応を行っています。

15.2. サポートするブラウザ

Microsoft Internet Explorer Ver. 9.0に対応しました。

Windows 7 で動作検証を行っています。

15.3. ハイブリッドカメラレシーバーからの操作によるズーム動作速度設定

(SNC-ZP550/ZR550)

ハイブリッドカメラレシーバーSNCA-ZX104からPelco-Dプロトコルを使用してズーム動作を行った際の速度をCGIコマンドで設定できるようにしました。

詳細は CGI コマンド 説明書を参照してください。

15.4. CGI コマンドによる Focus Near Limit 設定 (SNC-EP550/ER550/ZP550/ZR550)

Focus Near Limit を以下の CGI コマンドで設定できるようにしました。

`http://ip_adr/command/ptzf.cgi?FocusNearLimit=<limit position>`

詳細は CGI コマンド 説明書を参照してください。

15.5. CGI コマンドによる Max Zoom Speed 設定 (SNC-EP550/ER550/ZP550/ZR550)

Max Zoom Speed を以下の CGI コマンドで設定できるようにしました。

`http://ip_adr/command/ptzf.cgi?MaxZoomSpeed=<speed>`

詳細は CGI コマンド 説明書を参照してください。

16. Ver. 1.70 の新規追加機能について

16.1. プライバシーマスキングエリアの数

設定可能なプライバシーマスクのエリア数を最大 8 か所から 12 か所にしました。

[注意]

プライバシーマスクは 12 か所設定できますが、同じ画面内に同時に表示出来るのは最大 8 か所です。画面内に 9 か所以上のマスクが設定されている場合は、番号の小さなマスクから優先的に表示されます。SNC toolbox から 9 か所以上のマスクを設定する場合には version 1.2.6.0 以降をお使いください。

16.2. 映像/音声別のマルチキャストアドレス設定

映像 1、映像 2、音声ごとに個別のマルチキャストアドレスを設定および配信することを可能にしました。

詳細は CGI コマンド 説明書を参照してください。

[注意]

本機能は ActiveX viewer、設定画面、SNC toolbox からは使用できません。

17. Ver. 1.53 の新規追加機能について

SNC-EP580/ER580 のハードウェア変更に伴う対応を行いました。

[注意]

ハードウェア変更後の新しいカメラに対して ver. 1.51 以前のファームウェアは適用できません。SNC toolbox からアップグレードしようとした場合、ハードウェアが自動判別され「失敗」と表示されます。

18. Ver. 1.51 の新規追加機能について

18.1. 新機種追加対応

本バージョンでは SNC-EP550/ER550 の対応を行っています。

18.2. NTCIP 対応

NTCIP(National Transportation Communications for ITS protocol)は、米国で標準化されている交通監視用のプロトコルです。米国VidSys社製のVidShieldソフトからプリセット登録及び呼び出し、PTZ制御等が行えます。

管理者設定メニューに本機能に関する設定項目はありません。

18.3. Connection List

ストリーミングの配信先に関する情報を取得するための機能です。どのクライアントがストリーミングを受信しているかを知るために使用します。

ストリーミング配信先のIPアドレス及びポート番号、HTTPあるいはUDP等の使用されているプロトコル、H.264等のメディアの種類等の詳細情報をセッション毎に取得することが出来ます。

cgiコマンドで対応しています。管理者設定メニューに本機能に関する設定項目はありません。

本機能に関する詳細はcgiコマンド説明書を参照してください。

18.4. ホワイトバランス設定の「自動(最適)」モード対応

ホワイトバランスの設定に「自動(最適)」モードを追加しました。本モードを選択すると、人の見た目に近い色再現を自動で調整します。高圧ナトリウムランプ下では、ナトリウムランプモードに自動的に切り換わります。

18.5. メール機能(「異常送信」)の SD メモリーカード対応

メール(SMTP)の「異常送信」に「SD メモリーカード」を追加しました。有効にすると、SD メモリーカードへの記録や読み出しが正常に行われなかった場合にメールを送信します。

18.6. 高感度モード対応

高感度モード設定を追加しました。高感度モードをオンにすると、通常のゲインが大きくなるに応じて高感度化のゲインが上乘せされてかかり、最大ゲイン時に 4 倍までゲインが上がります。その場合、ノイズの多い画像となる場合があります。

19. Ver. 1.86 で改善した問題点

本バージョンで改善した問題点はありません。

20. Ver.1.82.01 で改善した問題点

20.1. ファームウェア格納メモリーにおけるデータエラー訂正の能力強化

メモリーの一部の領域でデータが壊れた場合に、電源をOFF/ON、もしくはリブートした後に、機器が起動しない、一部の機能が正常動作しない等の症状が発生する可能性があります。

このため、エラー訂正能力を強化しました。

(Ver.1.40 からの問題)

21. Ver. 1.81で改善した問題点

本バージョンで改善した問題点はありません。

22. Ver.1.80 で改善した問題点

22.1. ONVIF における音声のみの Profile 対応

ONVIFにおいて音声のみのProfileが作成された場合、GetStreamUriコマンドに対してBadRequestを返していましたが、URIを返すように修正しました。

(Ver.1.77 からの問題)

22.2. ONVIF で 1280x720 から 1920x1080 までのフレームレートが正しく設定できない不具合修正 (SNC-EP580/ER580/ER585/ER585H)

H.264コーデックで1280x720から1920x1080までの画像サイズが選択されている場合、ONVIFコマンドにおけるフレームレート設定が正しく反映されない不具合がありました。(CGIコマンドにおいて、不具合はありません。)本バージョンにて修正しました。

(EP580 および ER580 の Ver.1.40 からの問題)

22.3. 起動直後の 802.1x 認証が失敗する不具合の修正

802.1x認証機能付きのPoE Hubとの接続において、起動時に802.1x認証が失敗する不具合がありました。本バージョンにて修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

22.4. ONVIF においてタイムゾーン設定ができない不具合の修正

ONVIFにおいて、CET-1、IDLWのタイムゾーン設定ができなかったため、修正しました。また、GMTからのオフセット時間設定もできるように修正しました。(例えば、US、CANADAは「GMT-5」のように設定できます。ただし、分、秒単位のオフセット設定は対応していません。)

(Ver.1.40 からの問題)

22.5. ONVIF において HTTP の Port 設定変更後の通知ができない不具合の修正

デフォルト値と異なるPort番号が設定されている場合、ONVIFにおけるDevice Service AddressのPort番号付与ができていなかったため、変更後のPort番号を付与するように修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

22.6. ONVIF における Video Encoder Configuration 対応

ONVIFにおいてVideo Encoder Configurationによる映像2側の問い合わせ、および設定ができない不具合がありました。同不具合に対して、映像1に依存して決定する映像2の設定パラメータを算出し、問い合わせへの応答、および設定ができるように修正しました。

また、RTSP セッションタイムアウト設定もできるように修正しました。(PTxxHxxMxxS表記の対応、および600秒を超える場合は、最大値の600秒として設定するようにしました。)

(Ver.1.40 からの問題)

22.7. Edge Storage の記録性能の改善

メディアへのデータ書き込みが正常に行われなかった場合があります。

同症状が発生した場合、メディアエラーを検知し記録が停止してしまいます。

この症状に対し、メディアへ書込むデータ形式の変更を伴う修正で対応を行いました。

(Ver.1.40 からの問題)

[ご注意]

記録済みデータは新しいデータ形式へ変換することが出来ません。
本バージョンでも、メディアによっては1秒近く記録できない症状が稀に発生します。

以前のファームウェアから本バージョンにアップグレードして、引き続き Edge Storage をお使いになるお客様は、下記の手順に従って下さい。

- 1) Edge Storage 機能とイメージメモリー機能を停止する。
- 2) メディア内の記録済みデータのバックアップを行う(後述)。
- 3) ファームウェアをアップグレードする。
- 4) メディアを本機にてフォーマットする(記録済みデータは全て消去されます)。
- 5) Edge Storage 機能とイメージメモリー機能を再開する。

メディア内の記録済みデータは以下のいずれかの方法でバックアップして下さい。

- a) RTSPストリーミング可能なレコーダーで、メディア内の映像データをストリーミング再生し保存する。
- b) 本機のFTPサーバー機能をオンにし、メディア内のデータをクライアントへコピーする。※
- c) 本機の電源を切った後、メディアを本機から取り出し、メディア内のデータをコンピューター等へコピーする。※

※ b)、c) の場合、コピーした映像データ(*.mafファイル)は、SNC video playerで再生可能です。

バックアップ前にファームウェアアップグレードを行ってしまった場合には、元のファームウェアバージョンに戻してから上記手順に従って下さい。メディア内に古いデータ形式のファイルを検出した場合は、スーパーインポーズにて“FORMAT MEDIA PLEASE”と表示されます。また、システムログにおいてもフォーマットを促すメッセージが表示され、Edge Storageの再開はできません。

22.8. RTSP における PLAY の応答に RTP-Info ヘッダ付加

RTSPにおけるPLAYの応答において、RTP-Infoヘッダを付加できるように修正しました。下記のCGIコマンドにおいて、RTPInfo/パラメータをonすることで付加されます。(デフォルトはoffでなし。)

http://ip_adr/command/camera.cgi?RTPInfo=on

本機能に関する詳細はCGIコマンド説明書を参照してください。

(Ver.1.40 からの問題)

23. Ver.1.78 で改善した問題点

23.1. 時刻変更時の Edge Storage

夏時間などによる時刻変更が発生するとEdge Storage機能の記録が停止することがある問題がありましたので修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

23.2. ONVIF コマンド SetImagingSettings のパラメータ設定

ONVIFコマンドSetImagingSettingsで指定するBrightness及びColorSaturationのパラメータを小数で指定すると、“HTTP/1.1 400 Bad Request”の応答が返る問題がありましたので修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

24. Ver.1.77.02 で改善した問題点

24.1. SSL 有効時のストリーミング画像パフォーマンス改善

SSL有効時のストリーミング画像のフレームレートを従来よりも向上させました。

(Ver.1.40 からの問題)

24.2. MPEG-4 の SDP 修正

RTSPで使用されるMPEG-4のSDP(Session Description Protocol)情報の最後に余分なデータ4バイトが付加されていたので削除しました。

(Ver.1.40からの問題)

25. Ver.1.76 で改善した問題点

25.1. 他社クライアントソフトとの接続性改善

Genetec製Omnicastクライアントソフトとの接続が切れてしまうことがある問題がありましたので修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

25.2. 他社クライアントソフトからのプリセット登録問題

NICE製クライアントソフトからプリセット登録できない問題がありましたので修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

25.3. SSL 有効時に alarmdata.cgi が送信されない問題

SSL有効時にalarmdata.cgiが送信されない問題がありましたので修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

25.4. 動体検知中に alarmdata.cgi が 1/0 を繰り返す問題

動体検知中にもかかわらずalarmdata.cgiが検知/非検知を示す1/0を繰り返す問題がありましたので修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

25.5. アイリス F 値が正しく設定されない問題 (SNC-EP550/ER550/ZP550/ZR550)

設定画面ならびにCGIコマンドでアイリスF値を指定した際に、実際に設定される値と異なる問題がありましたので修正しました。

(SNC-EP550/ER550 Ver. 1.51 または SNC-ZP550/ZR550 Ver. 1.72.01 からの問題)

25.6. IPv6 使用時シリアル制御 PTZ コマンドが受信できない問題 (SNC-ZP550/ZR550)

IPv6使用時にハイブリッドカメラレシーバーSNCA-ZX104にシリアル接続されている外部機器から送られるPTZコマンドを受信できない問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.72.01 からの問題)

26. Ver. 1.74.02 で改善した問題点

26.1. Full Duplex 通信でのスループット低下

CGI コマンドによりイーサネット通信モードを 10Mbps または 100Mbps の Full Duplex 固定に設定すると、ネットワークスループットが低下する問題がありましたので、修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

27. Ver. 1.74.01 で改善した問題点

27.1. ビデオコーデックの初期値ビットレート変更(SNC-EP580/ER580)

ビデオコーデックビットレート工場出荷設定を 2Mbps から 4Mbps へ変更しました。

(Ver.1.40 からの仕様)

27.2. No.9 以上のプライバシーマスク設定(SNC-ER550)

カメラ動作モードを 25fps に設定した場合、No.9 以上のプライバシーマスク設定が出来ないという問題がありましたので修正しました。

(Ver.1.70 からの問題)

27.3. マルチキャスト配信時の応答性改善

マルチキャスト配信時のCGIコマンドに対する応答性を改善しました。

(Ver.1.40からの問題)

27.4. RtpExpire 設定値の反映

CGIコマンドRtpExpireの値を変更した場合、リブートを伴わないと反映されないという問題がありましたので修正しました。

この修正により、リブートは不要となり、RtpExpireの値を変更した際に反映されるようになります。

(Ver.1.40 からの問題)

27.5. ONVIF コマンド GetVideoSourceConfigurationOptionsRequest に対する応答不具合

ONVIFコマンドGetVideoSourceConfigurationOptionsRequestでConfig.Profileの指定無しの時GetVideoSourceConfigurationOptionsResponseにVideoSourceTokenAvailableフィールドが無い不具合を修正しました。

(Ver.1.40からの問題)

27.6. ONVIF コマンド SetVideoEncoderConfiguration に対するエラー応答

ONVIF コマンド SetVideoEncoderConfiguration 要求に対して、“HTTP/1.1 500 Internal Server Error”の応答が返ることがありましたので修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

28. Ver. 1.70 で改善した問題点

28.1. ビデオコーデックモード設定改善

ビデオコーデックモードのフレームモードまたはビットレートの設定が行われた際に、変更が反映されるまでに約 3 秒間程度要していましたが、今回の改善により変更反映時間を約 1/10 程度に短縮しました。

(Ver. 1.40 からの問題)

28.2. Smartphone viewer の Landscape mode 表示不具合

Smartphone viewer 使用時、Landscape mode で表示した際に画面下部が表示されない問題がありましたので、修正しました。アスペクト比を保持したまま表示領域内に全画面を表示しますので、左右に黒帯が表示されることがあります。

(SNC-EP580/ER580 Ver. 1.40 または SNC-EP550/ER550 Ver.1.51 からの問題)

28.3. Smartphone viewer のストリーム受信不具合

Smartphone viewer 使用時、ネットワークメニューの「HTTP ポート番号」を既定値の 80 番以外に変更するとストリームを受信出来ない問題がありましたので、修正しました。

(SNC-EP580/ER580 Ver. 1.40 または SNC-EP550/ER550 Ver.1.51 からの問題)

28.4. JPEG RTP パケットの Fragment Offset 値不正

JPEG の RTP パケットヘッダ部の Fragment Offset 値が RFC 規定値と異なっている問題がありましたので、修正しました。

互換性保持のために従来と同じ値で使いたいクライアントのために次の CGI コマンドを用意しました。

`http://ip_adr/command/camera.cgi?RTPMJPEGOOffset=off`

詳細は CGI コマンド説明書を参照してください。

(SNC-EP580/ER580 Ver. 1.50 または SNC-EP550/ER550 Ver.1.51 からの問題)

28.5. Audio upload 認証エラー時の再接続不具合

Audio upload の接続時に認証エラーが発生してもカメラ側からコネクションをクローズしていなかったため、クライアントが同じコネクションを使用して再接続する場合に失敗していた問題をカメラ側からコネクションをクローズするようにして修正しました。

なお、SNC audio upload tool ではクライアントからコネクションを切断しているため、従来この問題は発生しません。

(SNC-EP580/ER580 Ver. 1.40 または SNC-EP550/ER550 Ver.1.51 からの問題)

28.6. Edge Storage 再生不具合

Edge Storage で指定された再生開始時刻と停止時刻によっては再生出来ないことがある問題がありましたので、修正しました。

(SNC-EP580/ER580 Ver. 1.40 または SNC-EP550/ER550 Ver.1.51 からの問題)

28.7. メール機能の「異常送信」の継続送信設定

メール(SMTP)メニューの異常送信において継続送信をオンにしても、SD メモリーカードに関するアラームは異常を検知した際に一度しか送信されない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.51 からの問題)

28.8. マルチキャストアドレスのデフォルト値

マルチキャスト配信機能で使われるアドレスのデフォルト値が RFC3171 で Local Network Control Block として割り当てられている 224.0.0.200 となっていましたので、これを 239.192.0.200 に変更しました。

(SNC-EP580/ER580 Ver. 1.40 または SNC-EP550/ER550 Ver.1.51 からの問題)

28.9. プライバシーマスクの表示位置

オートフリップ機能の有効時にリブートを行うと、プライバシーマスクが正しく表示されない場合があるという問題がありましたので修正しました。

(SNC-ER580 Ver. 1.40 または SNC-ER550 Ver.1.51 からの問題)

28.10. プリセットツアー停止直後のプリセット呼び出し

プリセットツアー停止直後にプリセット呼び出しを行うと、カメラのプリセット移動が正常に実行されないことがあるという問題がありましたので修正しました。

(SNC-EP580/ER580 Ver. 1.40 または SNC-EP550/ER550 Ver.1.51 からの問題)

28.11. ONVIF プロトコル接続時のズーム動作不具合

ONVIFプロトコル接続時のズーム操作で、TELE移動させた後に再度TELE移動させようとした場合、またはWIDE移動させた後に再度WIDE移動させようとした場合に動作しない問題がありましたので、修正しました。

(Ver1.40 からの問題)

29. Ver. 1.53 で改善した問題点

映像の設定においてコーデックが JPEG、画像サイズが 1920×1080、画質設定が Level10 の時、正常にストリーミングが出来なくなることがありましたので修正しました。

(Ver. 1.51 からの問題)

30. Ver. 1.51で改善した問題点

本バージョンで改善した問題点はありません。

31. Ver. 1.42 で改善した問題点

31.1. 特定の操作を行うと通信出来なくなることがある問題の修正

リセットスイッチを使用して工場出荷時の設定に戻した場合、またはイーサネットポートの通信速度を変更した場合に、通信出来なくなることがありましたので修正しました。

(Ver. 1.40 からの問題)

[補足]

- 上記修正に伴い、上記の操作をおこなった際にイーサネットポートのリンク状態をダウンしないようにしました。
- イーサネットポートの通信速度は、network.cgi コマンドの PhySpeed パラメータにて設定することが出来ます。

32. Ver. 1.41 で改善した問題点

32.1. オーディオ出力レベル

ライン出力端子からオーディオを出力する場合に、出力レベルが低下することがあるという問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.40 からの問題)

33. 機能の制限等について

33.1. SNC video player

SNC video player で再生するファイルが保存されているフォルダ名の最後の文字が数字である場合、正常に再生できない場合があります。その場合にはフォルダ名の最後の文字を数字以外にしてください。

(全機種共通)

33.2. モニター出力 (ビデオ出力)

モニター出力 (ビデオ出力:SNC-ZP550/ZR550)をONに設定した場合は、動体検知は機能しません。

(全機種共通)

33.3. プリセット位置のサムネイル表示

ファームウェアのアップグレード時には、プリセット位置のサムネイル表示は引継がれません。

(全機種共通)

33.4. RTSP ストリーミング

RTSPストリーミングはパフォーマンス上の制約があるため、以下の設定を推奨します。

(全機種共通)

H.264/MPEG4を使用する場合は、以下の通り

- モニター出力 (ビデオ出力:SNC-ZP550/ZR550): OFF
- HTTP, RTPを含めた同時接続セッション数: 2
- 接続ビットレートの合計: 4Mbps以下

JPEGを使用する場合は、以下の通り

- モニター出力 (ビデオ出力:SNC-ZP550/ZR550): OFF
- HTTP, RTPを含めた同時接続セッション数: 1
- フレームレート: 10fps以下
- 画質設定: Level 4以下
- 画サイズ: VGA以下

33.5. Edge Storage

Edge Storage 録画中に設定変更を行うと、録画が一時的に中断することがあります。

Edge Storage 機能を使用する時は、Image Memory, FTP クライアントを使用しないでください。

- Image Memory: 共通タブの[記録機能]をオフ、アラームタブの[アラーム記録]をオフ、定期設定タブの[定期記録]をオフにしてください
- FTPクライアント: 共通タブの[FTPクライアント機能]をオフ、アラーム送信タブの[アラーム送信]をオフ、定期送信タブの[定期送信]をオフにしてください

Edge Storage 機能を使用する時は、メールのファイル添付を使用しないでください。

- アラーム送信タブの[ファイル添付]をオフ、定期送信タブの[定期送信]をオフ

Edge Storage 機能はパフォーマンス上の制約があるため、以下の設定を推奨します。

- ビデオコーデック：映像2をオフ
- 画サイズは：VGA以下
- H.264/MPEG4を使用する場合は、以下の通り
 - ◇ ビットレート設定
 - 2Mbps以下 (SNC-EP550/ER550/ZP550/ZR550)
 - 3Mbps以下 (SNC-EP580/ER580/ER585/ER585H)
 - ◇ フレームレート：15fps以下
- JPEGを使用する場合は、以下の通り
 - ◇ フレームレート：10fps以下
 - ◇ 画質設定：Level 4 以下
- カメラ妨害検知：オフ
- 動体検知：設定しない

SD メモリーカードに保持可能な録画件数は、最大 500 です。上書き設定がオフの場合、エントリー数が 500 になった時点で新規の記録は停止します。上書き設定がオンの場合、エントリー数が 500 になると古いエントリーから上書きされます。

(全機種共通)

33.6. カメラ妨害検知

- ー カメラ妨害検知の設定がオンの場合、カメラを起動させてからカメラ妨害検知が開始されるまで約2分間かかります。その間は、カメラ妨害検知をトリガーにしている機能が動作しないので待ってください。
- ー GUI において 'Clear' ボタンを押下した場合はカメラ側の検知状態を '未検知' にして表示も正しく更新されますが、検知後の検知状態は 'カメラ妨害検知' ボタンを押下するなどして同ページを再描画しないとカメラ側の状態を正しく更新できません。
- ー システムのスーパーインポーズ設定において、それぞれの映像に 'イベント' 表示が設定されている場合は、妨害が検知されると 'Tampering' という表示が約 10 秒間保持されます。この間に 'Clear' ボタン押下にて検出状態を '未検知' とした場合でも、同表示は保持されているのでご注意ください。

(全機種共通)

カメラ妨害検知機能はパフォーマンス上の制約があるため、以下の設定を推奨します。

- H.264/MPEG4を使用する場合は、以下の通り
 - ◇ ビットレート設定
 - 2Mbps以下 (SNC-EP550/ER550/ZP550/ZR550)
 - 3Mbps以下 (SNC-EP580/ER580/ER585/ER585H)
 - ◇ フレームレート：15fps以下
- JPEGを使用する場合は、以下の通り
 - ◇ フレームレート：10fps以下
 - ◇ 画質設定：Level 4 以下
- Edge Storage: オフ

[補足]

「画サイズは VGA」以下という項目を削除しました。

33.7. 動体検知

システムのパフォーマンス制約のため、動体検知を使用する際は以下の設定をしてください。

- 映像 2 を OFF
- 画像切り出しモードを OFF
- ビデオ出力を OFF (SNC-ZP550/ZR550)

また、PTZ制御、プリセット移動中は、動体検知を停止させています。PTZ制御、プリセット移動完了後、しばらくたってから動体検知が再開します。

動体検知機能はパフォーマンス上の制約があるため、以下の設定を推奨します。
(全機種共通)

- H.264/MPEG4を使用する場合は、以下の通り
 - ◇ ビットレート設定
 - 2Mbps以下 (SNC-EP550/ER550/ZP550/ZR550)
 - 3Mbps以下 (SNC-EP580/ER580/ER585/ER585H)
 - ◇ フレームレート: 15fps以下
- JPEGを使用する場合は、以下の通り
 - ◇ フレームレート: 10fps以下
 - ◇ 画質設定: Level 4 以下
- Edge Storage: オフ

[補足]

「画像サイズは VGA 以下」という項目を削除しました。

33.8. イメージメモリー

イメージメモリー機能はパフォーマンス上の制約があるため、以下の設定を推奨します。
(全機種共通)

- H.264/MPEG4を使用する場合は、以下の通り
 - ◇ ビットレート設定
 - 2Mbps以下 (SNC-EP550/ER550/ZP550/ZR550)
 - 3Mbps以下 (SNC-EP580/ER580/ER585/ER585H)
 - ◇ フレームレート: 15fps以下
- JPEGを使用する場合は、以下の通り
 - ◇ フレームレート: 10fps以下
 - ◇ 画質設定: Level 4 以下

[補足]

「画像サイズは VGA 以下」という項目を削除しました。

33.9. DynaView (WDR)

DynaView がオンに設定されている場合、露出補正による画質調整は出来ません。露出補正を行う場合は DynaView をオフに設定してください。

また 1/30 秒より遅いシャッタースピードを設定されている場合、DynaView がオンに設定されていても動作しません。DynaView 機能を有効にする場合はシャッタースピードを 1/30 秒以上にしてください。

(全機種共通)

33.10. DynaView オン時の画面更新速度

DynaView を[オン]に設定すると、画像の更新がカメラ動作モードで設定した値の半分になります。

(全機種共通)

33.11. フレームレート制限

H.264 および MPEG4 ではコーデックの処理能力により選択された画像サイズから設定可能なフレームレートが表示されますが、使用されるストリーム数等により実際のフレームレートが設定よりも小さな値になる場合があります。JPEG においても、画質設定やストリーム数に応じて設定可能なフレームレートが同様に制限されます。

(全機種共通)

33.12. JPEG の帯域制限

JPEG の帯域制限機能は TCP 通信に対してのみ有効です。

(全機種共通)

33.13. 映像コーデックの使用制限

工場出荷設定においては、映像 1 にて H.264 1280x720 30fps (SNC-EP550/ER550/ZP550/ZR550)、あるいは H.264 1920x1080 30fps (SNC-EP580/ER580/ER585/ER585H) が選択されていますが、映像 2 を使用する場合は映像 1 のコーデックを MPEG4 へ切り替えるか、画像サイズ、あるいはフレームレートを小さくしてください。

(SNC-ZP550/ZR550においては、工場出荷設定でビデオ出力 ON が選択されていますが、映像 2 を使用する場合はビデオ出力を OFF に変更してください。)

また、H.264 および MPEG4 においてはビットレートにより圧縮効率が決定されています。画質の向上を期待する場合はビットレートを大きくすることで改善されますが、ネットワークへの負荷を十分に配慮し、実際の動作環境での確認を必ず行ってください。

JPEG が選択されている場合は、画質設定の Level をあげることで画質が向上しますが、帯域制限をかけることでストリームの送出しが正常に行われない場合があります。動作確認を行ってから設定を行ってください。

(全機種共通)

33.14. 動体検知領域の設定

CGI コマンドを使用して動体検知の検知領域を 180 度以上の内角を持つように設定すると、正しく検知されない場合があります。設定画面からの設定時と同じように全ての内角が 180 度未満になるように検知領域を設定してください。

(全機種共通)

34. 既知の問題点について

34.1. Safari について

Safari4 または 5 にて Plug-in free viewer のストリーム方法にて JPEG を使用した場合は、メモリー使用量が増加し、Safari が異常停止することがあります。長時間の連続再生を行う場合は、ストリーム方法を JPEG Flash で使用するか、他のブラウザをご使用ください。
(全機種共通)

34.2. Edge Storage

推奨設定以上の設定で使用する場合、ストリームの再生が出来ない場合があります。記録中に追いかけて再生を行うと、再生が記録に追いつく場合があります。その時は、再生が停止します。映像と音声を記録しているファイルを再生する際、映像と音声の同期が取れない場合があります。
(全機種共通)

34.3. RTSP

推奨設定以上の設定で使用する場合、機器が再起動することがあります。
(全機種共通)

34.4. カメラ妨害検知

推奨設定以上の設定で使用する場合、機器が再起動することがあります。
(全機種共通)

34.5. 動体検知

推奨設定以上の設定で使用する場合、機器が再起動することがあります。
(全機種共通)

34.6. Smartphone viewer での長時間再生

カメラのビデオコーデックにおいて大きな画像サイズが設定されている場合、長時間ビューアーを開いているとビューアーが停止することがあります。その際は再度ビューアーを起動し直してください。
(全機種共通)

34.7. Smartphone viewer での複数ボタンの同時押下

Xperia™ arc では、PTZ ボタンを複数個同時に押すとカメラの PTZ 動作が動き続けることがあります。動作を止めるには、押したボタンのいずれかを再度押し直してください。
(全機種共通)

34.8. ビデオ出力でのスーパーインポーズ表示について

映像 1 のスーパーインポーズ表示が ON に設定されている状態でビデオコーデック設定における映像 1 の画像サイズが 640x480 に選択された場合、ビデオアウトにおいても映像 1 と同じスーパーインポーズ表示が出力されます。
(SNC-ZP550/ZR550)

34.9. バージョン 1.2.5.0 以前の SNC toolbox によるファームウェアアップグレード

Ver.1.70 以降のファームウェアが搭載されたカメラは、バージョン 1.2.4.0 以前の SNC toolbox を使用してファームウェアをアップグレードすることができません。また、バージョン 1.2.5.0 の SNC toolbox においては、デフォルト値以外のユーザー名、パスワードの設定がファームウェアアップグレード後に保持されていない不具合が見つかりました。ファームウェアをアップグレードしたい場合は、バージョン 1.2.6.0 以降の SNC toolbox をお使いください。
(全機種共通)